



春のもろやま 花満開

毎年3月下旬から4月中旬にかけて、毛呂山町は、たくさんの花であふれます。その間、町内の各地において桜まつりや花まつりといったイベントが開催され、多くの人たちで賑わいます。気温の上昇とともに外へ出かけるのにも心地よい季節になります。花をもとめて町内散策するのも楽しいのではないのでしょうか。

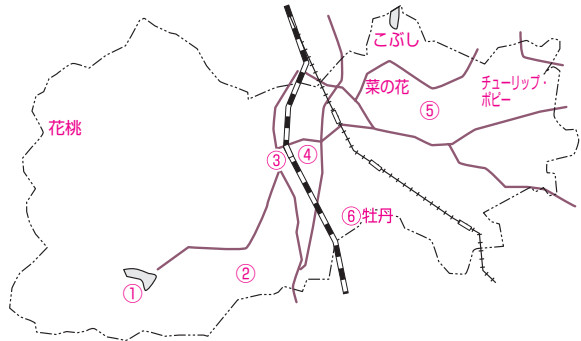
桜

春に咲く花の代表といえるのが桜ではないでしょうか。

桜は、町内各地に見所となる場所があります。まずは、町内の桜の名所を紹介いたします。

桜の名所といえば町内の代表的な場所が鎌北湖です。鎌北湖は、湖の周りにも桜が植えられています。主に堤防の両側に植えられているものが一番多く、満開になると湖面に映る桜景色は、とても見ごたえがあります。4月15日に「桜まつり」が開催され、イベントも用意されていますので、花見を兼ねてお出掛けになってみてはいかがでしょうか。

春に咲く花の代表といえるのが桜ではないでしょうか。JR八高線毛呂駅前には、一本ですが桜の木があります。この場所では、地元ゆずの里商店街が「桜まつり」を開催しています。商店街加盟店の出店もありますので、ぜひ、お立ち寄りください。そして町内公共施設ではありませんが、毛呂山町福祉会館「ウイズもろやま」の敷地内および毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合前の町道にも美しく桜が咲き誇ります。また、葛貫にある「新しき村」には、しだれ桜が咲きます。一本だけ植えられている桜ですが、町内のほかの場所に咲く桜とは、また違った雰囲気を感じさせておられます。村のもつ素朴な雰囲気とあわせて、とても風情が感じられます。



- ①／鎌北湖 ②／宿谷地内 ③／JR八高線毛呂駅前
 ④／毛呂山町福祉会館「ウイズもろやま」 ⑤／毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合前の町道 ⑥／新しき村(しだれ桜)
 各場所ともおおむね4月上旬～中旬が桜の見ごろとなります(年によっては、開花時期・満開時期に多少の差は生じます)。



第5回ゆずの里商店街桜まつり

「餅つき」「甘酒」など、加盟店では、キャンペーン期間中にお買い上げいただいた方がたにご招待券を用意して、皆さまのお越しをお待ちしています。

日時 4月7日(出)午前10時
 ～午後2時(雨天中止)

内容 地震体験、毛呂山中学校吹奏楽部による演奏、愛仕幼稚園によるおゆうぎ、ヒップホップダンス、オカリナ演奏、もろ丸くんによるキャンペーン、豚玉毛丼の販売、野点など

場所 JR八高線毛呂駅前
問 ゆずの里商店街 ☎29
 4-0018 岡部



鎌北湖桜まつり

鎌北湖で「桜まつり」を開催します。皆さまのお越しをお待ちしています。

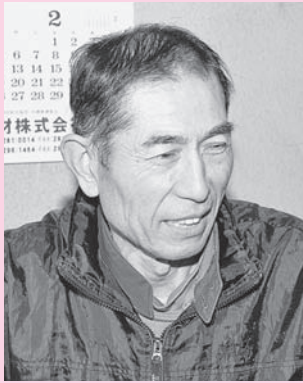
日時 4月15日(日)午前10時
 ～午後1時

内容 オープニングセレモニー(武蔵越生高等学校和太鼓部「青龍」の演奏と毛呂山町民謡連盟による民謡)、ゆず娘によるミニ撮影会、豚汁の無料サービス(午前11時ごろから約200人配布)など

場所 鎌北湖
問 毛呂山町観光協会事務局(役場産業振興課商工観光係内) ☎295-2
 112 内線175



INTERVIEW



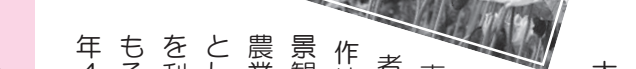
大類ボランティア
あわた 栗田 秀彦 さん

皆で楽しく行うことが、長く続ける秘訣です

大類地区では、花まつりを行う以前から、プランターに花を植え、各家庭に配布していました。花は誰が見ても和むものなので、花を育てるのであれば、地区の皆で出来るのではないかと思いますこの事業を始めました。

花まつりを始めてから、もう10年以上経ちますが、毎年訪れてくれる人も増えました。近隣市町だけでなく、東京から来てくれる人もいます。そのような人たちの笑顔が毎年続けてこられた活力だと思います。また、ボランティアで行っていますので、地区内で和気あいあいと楽しく行っているのも長く続けてこられた秘訣だと思います。

今年も綺麗な花が咲くように皆で手入れをしました。ぜひ、多くの人に見て、摘んでもらいたいと思います。



チューリップ・ポピー

大類地区では、春に「花まつり」、秋に「コスモスまつり」と年に2回の花をモチーフとしたまつりを行っています。この事業は、就農者の高齢化や後継者不足などによる田や畑の未耕作地の解消を図るため、花などの景観形成作物を作付けすることで農業の振興と地域の活性化を目的とした「もろもろまちおこし事業」を利用してのものでした。「もろもろまちおこし事業」は、平成12年4月から始められ、大類地区で

は同年の7月からこの事業を利用し、花を育てています。

「大類花まつり」の特徴は、地区のボランティアの手によって大切に育てられたチューリップとポピーの摘み取りが出来るところにあります。自分の気に入った花を自分で摘み取ることが来場者にとってたいへん好評で、毎年楽しみに訪れる人も多くみられます。また、同地区で採れた農産物や加工品の販売も来場者に喜ばれており、採れたての新鮮野菜が並び場所には、多くの人が並び姿も見られます。

大類花まつり
今年も例年どおり大類グラウンドの東側で「大類花まつり」が開催されます。色とりどりのチューリップとポピーが皆さんの来場をお待ちしています。
期間 4月14日(出)〜15日(日)
午前9時〜午後4時
内容 切り花の直売、農産物・加工品の販売、甘酒のサービス
場所 大類グラウンドの東側
※駐車場は大類グラウンドの駐車場をご利用ください。

問 大類ボランティア ☎ 294-1262 栗田



見所はまだまだまだたくさん！

こぶし

こぶしは3月末ごろに白い花をつけます。町内では、箕和田湖畔の箕和田親水公園にこぶしの花が咲き誇ります。青空に白く映える姿は、とても見事なものです。

また、箕和田親水公園の周辺には、遊歩道やベンチなど家族連れでもゆっくりできる施設が整備されていて、花を眺めながら、のんびりするにもってこいの場所です。

箕和田湖といえばヘラブナ釣りで有名な湖ですが、箕和田親水公園は、その湖畔にある、とてもくつろげる公園です。一度訪れてみてはいかがでしょうか。



菜の花



菜の花は、町内の各地で見ることができるところですが、大規模に花を植えているところの一つが箕和田耕地にあります。この場所は、毎年植えられているわけではないのですが、植えられた時には、まるで黄色い絨毯を敷き詰めたようにとても鮮やかです。

この菜の花畑は、県道岩殿・岩井線から見えるところにあります。が、花は、一般の人が植え、育てているので、畑に入ったり、花を摘んだりはお出来ません。しかしながら、沿道を通る人の目を楽しませてくれます。

花桃

滝ノ入の春の里山を彩る花桃。毎年3月下旬から4月初旬にかけて、咲き誇ります。花桃は、鮮やかな桃色の花をつけるため青空にとても映え、まるで桃源郷を想像させ、訪れる人に感動を与えます。この花桃も毛呂山の春を彩る風物詩といえます。

この花桃は、滝ノ入の人たちが植えているもので、林道沿いに咲いています。ここもまた個人所有の畑になりますので、中に入り、花を摘んだりはいけません。また付近に駐車場もありますので、ご注意ください。



牡丹



4月下旬に花をつけはじめ、5月に大輪の花を咲かせる牡丹があるのは、新しき村です。新しき村では、美しい花を咲かせるために丹念に花の手入れを行っています。毎年、赤い花や薄い桃色の花など様々な色の花が咲き誇り、見た目にも楽しむことができます。

新しき村では、4月には桜、5月には牡丹と月ごとに訪れる人を楽しませてくれます。また、売店（水曜定休）では村で採れた卵や椎茸などの販売も行っていますので、花を見に行くほかに楽しむことができます。